

経営比較分析表（令和6年度決算）

香川県さぬき市 さぬき市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透訓	救 臨 感 へ 災 輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
44,348	14,884	-	第2種該当	1 0 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

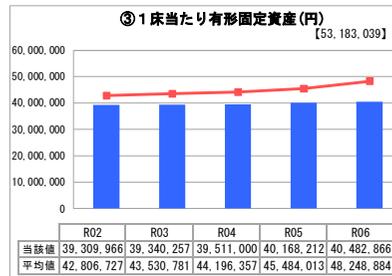
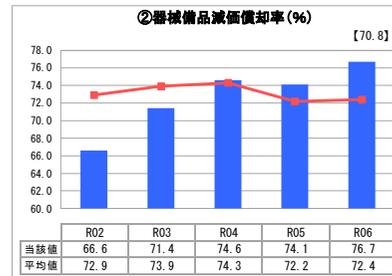
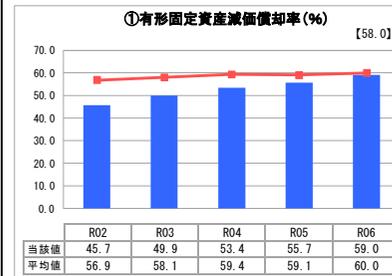
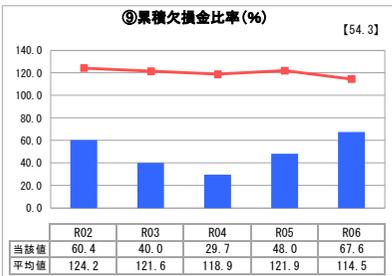
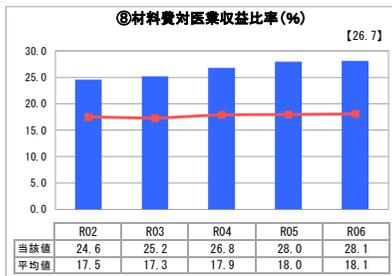
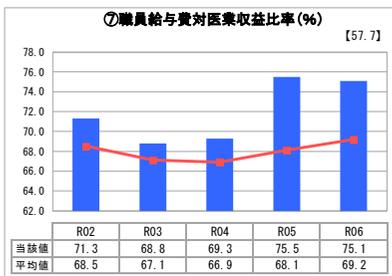
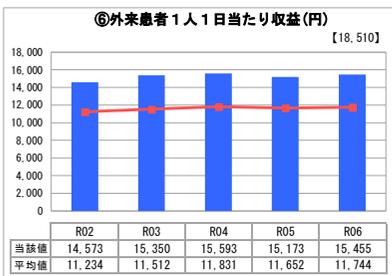
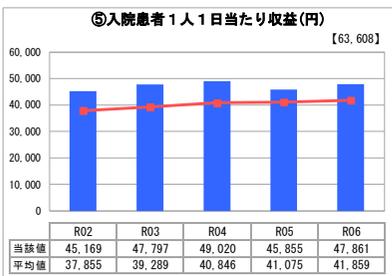
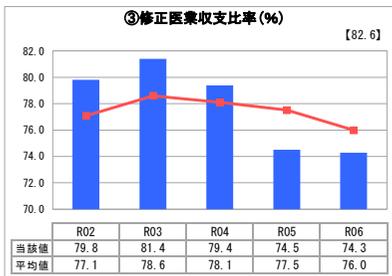
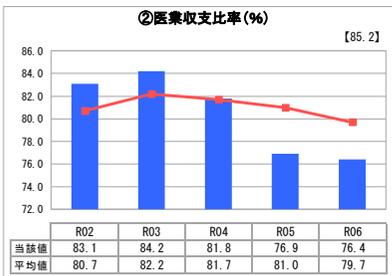
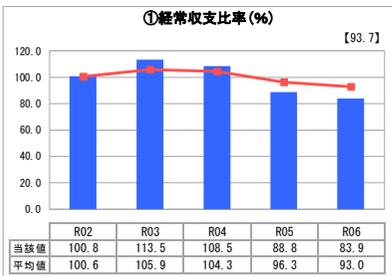
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
175	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	179
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
137	-	137

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の縦割・ネットワークを基盤)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域医療を担う中核病院として、地域の医療機関や福祉施設、行政等と連携し、急性期から回復期までの幅広い医療の提供とともに、救急、災害、へき地、周産期、小児及び新興感染症に対する政策医療を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医業収支比率については、前年度より入院、外来ともに収益が増収となったものの、給与費、材料費等の費用が大幅に増加したため、対前年度比0.5ポイントの減となった。
経常収支比率については、医業収益は増となったが、医業費用は人件費の増や物価の高騰による増により、対前年度比4.9ポイントの減となった。
さらに、材料費対医業収益比率については、右肩上がり継続しており、類似病院と比較し高い水準であることから適正な購入価格の調査を行う等の検証が必要である。

2. 老朽化の状況について

器械備品等については、老朽化に伴い令和5年度に引き続き、新規整備や更新を行ったため、器械備品減価償却率対前年度比2.6ポイントの増となった。
1床当たりの有形固定資産については、類似病院の平均値を大きく下回る状況であり、わずかに右肩上がりの状況となっているものの、取得資産を有効活用しており、必要最小限の投資により効果的な整備が行われていると考える。

全体総括

患者数の減少に伴い医業収益が低迷する一方で、人件費の増加、物価高騰の影響により経常収支は赤字となった。
今後は改善策を講じ、収支のマイナス部分を減らす必要性があることがあげられる。
当院としては、さらに、地域の中核病院として、地域の医療機関や福祉施設、行政等と連携し、地域医療の推進を図るとともに安心・安全な医療の提供ができるよう、患者サービスの向上に努め、市民のこころから健康を支え、住みよいまちづくりに寄与することで、経営改善に努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。